

2021年3月期 決算説明会

2021年5月24日

nmsホールディングス株式会社

(JASDAQ 2162)

Piece of Innovation.

nms
Holdings

nms ホールディングス株式会社

2021年3月期 決算概要

- 新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動停滞の影響により減収となったものの、H S 事業を中心に半導体・電子部品関連等、繁忙な業種において需要が堅調に推移
- EMS事業においては、国を越えた人の往来制限もありベトナム拠点の新製品量産立ち上げが想定以上に後ろ倒しになったことに加え、米国・メキシコ拠点の事業活動が現地ロックダウンで大幅な停滞を余儀なくされたものの、グループ全体における徹底した固定費削減策を実行し、第2四半期以降、営業利益改善を継続
2020年3月期実績に対し減益となったものの、当初予想を超過し着地
- 営業外費用において為替差損（300百万円）を計上、特別損失においては感染症関連休業手当等（395百万円）および次期を見据えた事業構造改革費用（92百万円）を計上

(単位：百万円)	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績					
							備 考
		第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第4四半期	累 計	
売上高	62,611	13,725	12,324	13,873	14,933	54,856	【営業外損益】 営業外収益 196百万円 (前年同期比 78百万円減) 営業外費用 726百万円 (前年同期比 73百万円増)
営業利益	920	△29	168	222	327	689	
経常利益	541	△157	88	121	105	158	【特別損益】 特別利益 28百万円 (前年同期比 164百万円減) 特別損失 497百万円 (前年同期比 449百万円増)
親会社株主に帰属 する当期純利益	280	△349	△150	△87	△147	△735	
EBITDA	2,089	292	474	603	583	1,954	

■ セグメント別業績ハイライト

(単位：百万円)		2020年 3月期 実績	2021年3月期 実績						
								20年3月期 対比	主なポイント
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累 計		
H S 事業	売上高	21,685	4,695	4,521	4,821	5,097	19,135	△11.8%	20年3月期に対し減収となったものの国内事業の需要回復に加え、徹底した経費見直しを実行、海外事業は中国の需要回復が継続、事業全体で増益
	セグメント利益	693	133	250	202	287	874	26.1%	
E M S 事業	売上高	27,046	6,280	5,125	6,179	6,469	24,054	△11.1%	マレーシアは堅調に推移したが米国・メキシコにおけるロックダウンの影響に加え、立ち上げ期にあるベトナム、メキシコ拠点の先行投資負担もあり減収減益
	セグメント利益	33	△45	12	45	△41	△29	—	
P S 事業	売上高	13,879	2,749	2,677	2,872	3,367	11,666	△15.9%	部材価格高騰に伴う売価是正効果があつた20年3月期に対し減益だが、中国拠点の稼働改善や抜本的コスト構造改革を実行、2Q以降利益改善
	セグメント利益	698	△1	39	97	191	327	△53.2%	
調整額	セグメント利益	△505	△115	△134	△122	△110	△482	—	当社(持株会社)に係る全社費用 * 持株会社化に伴い、当費用は各セグメントに配分せず「調整額」に区分
合 計	売上高	62,611	13,725	12,324	13,873	14,933	54,856	△12.4%	
	セグメント利益	920	△29	168	222	327	689	△25.1%	

* HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業

(参考) セグメント別業績 - HS事業 -

売上高

19,135百万円

前年同期比 11.8%減

セグメント利益

874百万円

前年同期比 26.1%増

【事業母体】

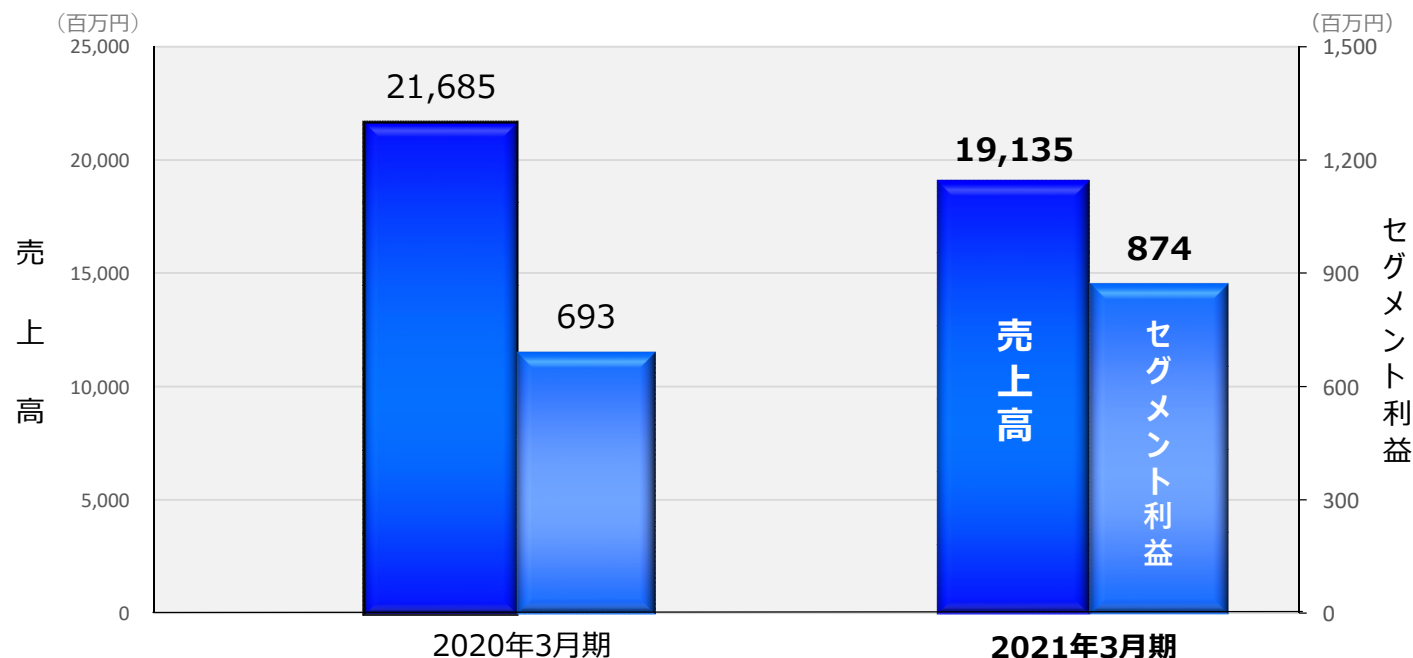
日本マニファクチャリング
サービスグループ

国内

- 感染症の影響により減収となったものの、製造派遣・製造請負事業における自動車関連事業等の回復に加え、繁忙な業種では人材供給ニーズが継続
- 需要の回復とともに、徹底した経費見直しを行い、国内事業全体における固定費の抑制に努めたことにより、利益を確保

海外

- ASEANにおける感染症影響による稼働調整に加え、インドネシア等、事業立ち上げに伴うコスト影響が残ったものの、経済活動が早期に回復した中国事業は堅調に推移
- 市場環境回復時を見た営業強化を実施



(参考) セグメント別業績 – E M S事業 –

売上高

24,054百万円

前年同期比 11.1%減

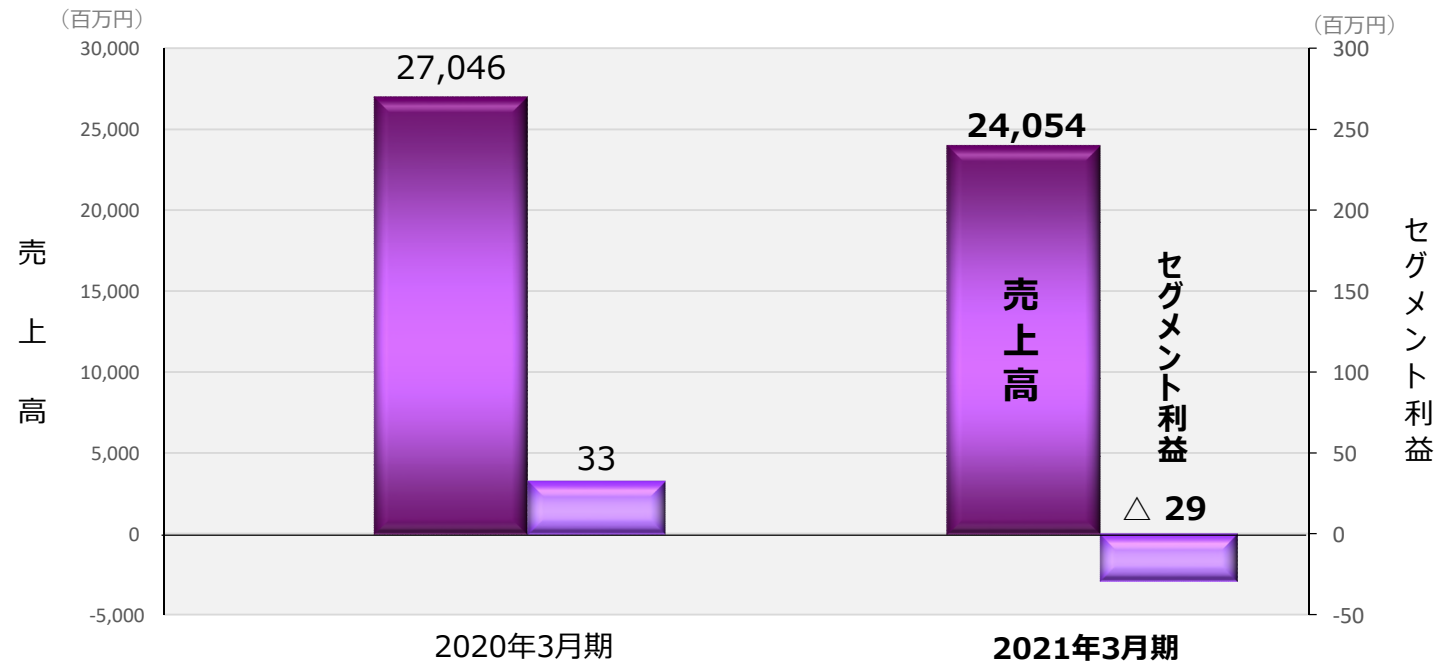
セグメント利益

△29百万円

【事業母体】
TKRグループ

- ・ 国内EMS事業は、感染症による影響に加え、一昨年から続いている米中貿易摩擦に起因した国内顧客の減産や工作機械関連の需要減少による影響もあり減収
- ・ 海外EMS事業は、戦略投資の実行・立ち上げ期にある中、世界規模での感染症拡大に伴う、各国政府方針によるロックダウンや外出禁止令、出入国制限等による経済活動停滞の影響が継続中国やマレーシアでは稼働改善がみられたものの、全体として販売が低調に推移
- ・ 特に、ベトナム拠点の新製品量産立ち上げが想定以上に後ろ倒しになったことに加え、米国・メキシコ拠点の事業活動が現地ロックダウンにより大幅な停滞を余儀なくされ、先行投資コストもありセグメント損失を計上

新規事業としてシェアビジネスの立ち上げを実施、グローバルで展開するE M S事業体制と長年培ってきた設計、製造、製造サービスのノウハウで、顧客ニーズに合わせたソリューションを提供



売上高

11,666百万円

前年同期比 15.9%減

セグメント利益

327百万円

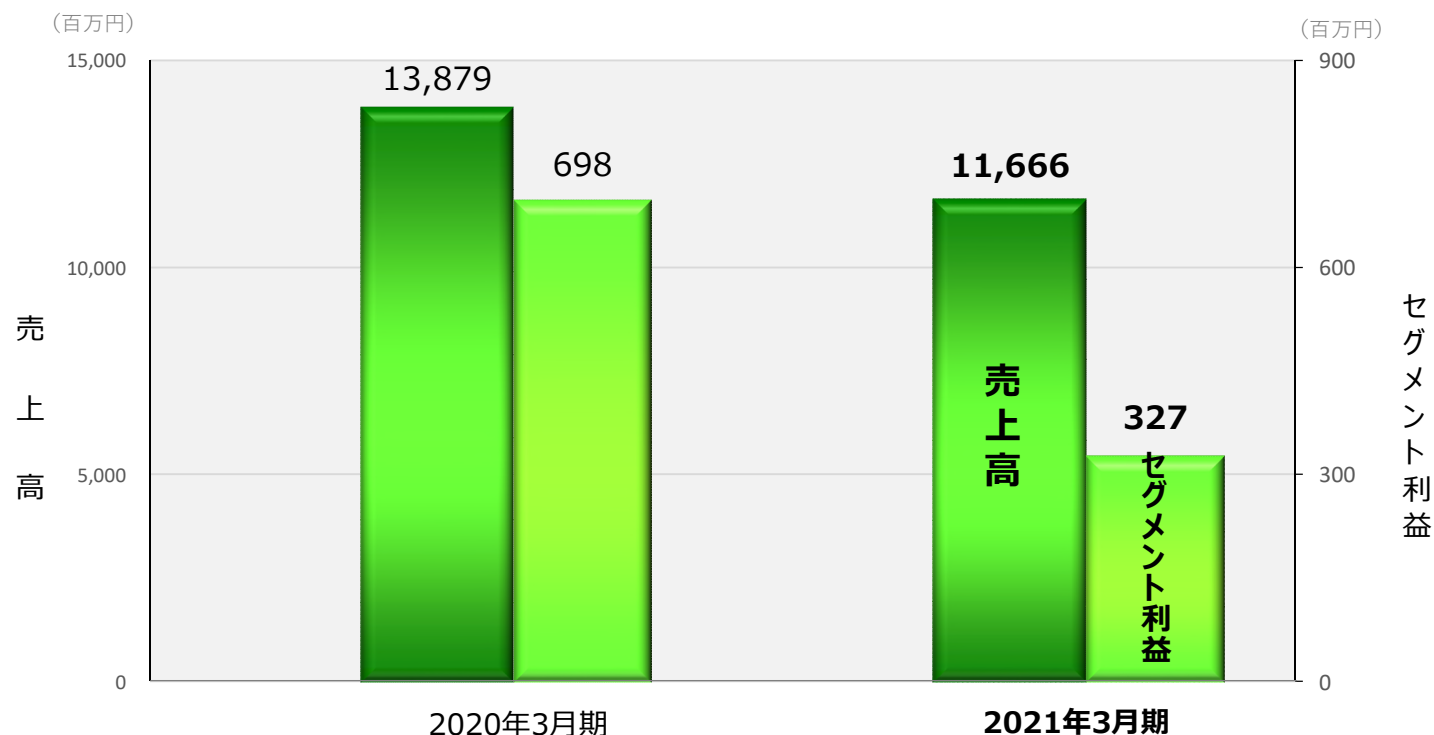
前年同期比 53.2%減

【事業母体】

パワーサプライテクノロジー
グループ

- ・ 中国の生産拠点における感染症に伴う生産活動停滞が早期に改善されたものの、サプライチェーンの混乱や顧客の生産調整、在庫調整実施の影響を受け、前連結会計年度に対し販売が減少
- ・ 一方、これまでの抜本的コスト構造改革による体質強化の効果に加え、さらなるコスト削減を実行、利益の確保に努め、部材価格高騰に伴う価格是正効果があった20年3月期に対し大幅減益となったものの、体質強化策による実効もあり、次期につながる基盤を構築

感染症が拡大する中、殺菌・滅菌機器への電源製品需要が拡大、産業機器分野に新規参入加えて、P S事業の販売体制一本化を目的として、2020年7月1日にPower Supply Technology (Hong Kong) Co., Limitedを設立、2021年1月より事業を開始



■ 業績ハイライト (B/S)

(単位：百万円)	2020年3月期末 (2020年3月31日)	2021年3月期末 (2021年3月31日)	増 減
流動資産	23,115	21,658	△1,457
固定資産	10,288	9,796	△492
有形固定資産	8,060	7,890	△170
無形固定資産	1,095	883	△212
投資その他の資産	1,133	1,022	△110
繰延資産	66	52	△13
資産合計	33,470	31,507	△1,963
負債合計	27,620	26,804	△815
流動負債	16,290	17,460	1,170
固定負債	11,330	9,344	△1,986
純資産合計	5,849	4,702	△1,147
負債・純資産合計	33,470	31,507	△1,963

■ 業績ハイライト (C/F)

(単位：百万円)		2020年3月期	2021年3月期	主なポイント
	税金等調整前当期純利益	686	△310	
	減価償却費	1,169	1,266	
	運転資金の増減	△861	1,348	売上債権 1,329 在庫 350 仕入債務 △331
	そ の 他	822	△1,361	
	営業キャッシュ・フロー	1,816	943	
	固定資産の取得・売却	△2,002	△1,014	売却収入 25 取得支出 △1,039
	そ の 他	△830	95	
	投資キャッシュ・フロー	△2,833	△919	
	フリーキャッシュ・フロー	△1,016	24	
	借入金の増減	△484	1,394	
	配当金支払 他	1,461	△729	リース債務返済 △403 配当金 △85
	財務キャッシュ・フロー	976	664	
	現金及び現金同等物期末残高	4,156	4,741	

■ 2022年3月期 業績予想・配当予想

- 感染症による経済活動の影響や、半導体供給不安による自動車減産リスクなど、不透明な事業環境が続く様相であるものの、2021年3月期に実行した基盤強化策の効果に加え、H S事業における請負比率拡大やE M S事業の新規量産立ち上げ、P S事業の殺菌・滅菌機器への電源製品需要拡大等を背景に、すべての事業セグメントで増収増益となる見込み
- これらにより、2022年3月期の連結業績は、2021年3月期通期見込みに対し、売上高は26%増の690億円、営業利益は74%増の12億円、当期純利益は6億円（黒字転換）を計画
- 2022年3月期配当については、業績見通しや経営環境を総合的に勘案し、1株当たり5円を予定

(単位：百万円)	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前期比	
				(額)	(率)
売上高	62,611	54,856	69,000	+14,143	25.8%
営業利益	920	689	1,200	+510	74.2%
経常利益	541	158	1,200	+1,041	7.6倍
親会社株主に帰属する 当期純利益	280	△735	600	+1,335	—
1株当たり配当金 (期末配当)	5円	4円	5円	+1円	

施策取り組み概況

—変化を好機に 攻めの施策で成長基盤を構築—

- **HS事業：事業基盤強化**
国内事業の事業体制強化
海外事業の収益性改善
- **EMS事業：事業構造改革実施、新規事業開始**
拠点機能を再定義、国内EMS事業を再編
シェアビジネス事業開始
- **PS事業：新市場分野への参入**
コロナ禍における殺菌・滅菌需要を背景に
産業機器分野に参入、拡販開始

HS
事業

人材リソースの多様化
新たなスキームの確立

・請負・受託事業の拡大
・ASEAN各国・地域との連携

・高度人材の育成・派遣
・独自のプラットフォーム構築

21年度実行主眼

■ 請負・受託の事業規模拡大

⇒ グループ内製造受託インフラ・ノウハウをお客様ニーズに合わせ提案・提供
製造業のファブレス化に即応、「人材＋ものづくり」ビジネスモデルを横展開

■ 高度人材の育成・派遣

⇒ 技術者派遣の機能強化、エンジニア採用・育成プログラムの再構築
デジタル人材の拡充・採用戦略の強化・効率化
ジョブグレードアップ制度の導入

■ Afterコロナをみた、デジタルプラットフォームの構築

⇒ 人材ビジネスノウハウをベースに製造業のファブレス化、ものづくり高度化に貢献する
独自のデジタルプラットフォームを構築

EMS
事業

製造業のファブレス化
新事業の展開

・アジア、北中米拠点の機能強化 ・国内生産拠点の機能再定義
・メガEMS/オーダーメイド型EMS/新事業連携による新たな価値創出

21年度実行主眼

■ベトナム拠点の順次量産品立ち上げ、北中米ビジネス再開

⇒ 感染症拡大影響により、新製品量産立ち上げの後ろ倒しや現地ロックダウンによる米国・メキシコ拠点の事業活動停滞を余儀なくされたが、日本品質の競争優位性で受注拡大

■国内EMS事業の機能強化策実行

⇒ グループEMS事業の主軸を担う株式会社テーケイアール（TKR）と国内製造子会社※1を経営統合、量産型・開発型双方を併せ持つ製造拠点と、設計・営業・マーケティング機能の融合により、国内外連携によるワンストップソリューションの質をさらに上げていく

※1：テーケイアールマニュファクチャリングジャパン

■「シェアリングビジネス」「3Dプリンター事業」の展開・拡大

⇒ 設計、製造、製造サービス、インフラ等、TKRグループ国内外拠点のノウハウをお客様ニーズに応じ提供するシェアビジネス、事業譲受した3Dプリンター事業の立ち上げ実施
EMSとの組み合わせで新たな価値創出

PS
事業

「電動化」「省エネルギー」
殺菌・滅菌需要への対応

・電源事業の収益基盤再構築
・産業機器市場への製品展開
・ASEANにおける拡販展開
・「電池パック」の拡販

21年度実行主眼

■主軸製品の収益基盤強化

⇒ 高圧電源、マグネットロールを中心に安定した収益体質への足掛かりを構築
マグネットロールはASEANにおける販売に着手

■産業機器市場への製品展開、新規顧客の獲得・拡販

⇒ 省人化・自動化ニーズによるロボティクス市場の拡大や、感染症対策を背景とした
殺菌・滅菌機器市場への製品展開を実行、新たな市場を開拓

■電池パックの新分野需要への対応

⇒ 安心安全の電源設計技術と蓄電・充電技術・ノウハウを活かしターゲット分野を拡大
建機・農機の電動化ニーズによる需要拡大など、新分野開拓を推進

日本の製造業は大きな課題に直面している！

- ① 生産現場におけるデジタルテクノロジーの導入、運用の後れ
- ② 正規社員削減による生産性の低下、品質問題、安定した生産現場の確立

**これまで培ったノウハウに新たな仕組みを加え
nmsグループ独自のビジネスモデルを構築**

**製造業の「DX」推進をサポート
必要技術・ツールをワンストップで提供**

さまざまな特性をもつAI企業・パートナー企業、
海外の政府・大学とのネットワークを活用
人材・生産管理・自動化・部材調達・物流など
顧客ニーズに合ったDXを実現するサービスを提供

**国内外の製造業ファブレス化に
貢献する高度人材の育成・提供**

グループ内EMS・PS事業とのシナジーに加え
ジョブグレードアップ制度の展開や
技術・技能教育の拡充でさまざまなニーズに
貢献する即戦力人材を育成

nms ホールディングス株式会社

<http://www.n-ms.co.jp/>

本社所在地	〒163-1445 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー45階
代表者	代表取締役社長 小野 文明
資本金	5億69万円（2021年3月31日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（JASDAQ市場） 証券コード 2162
グループ社員数	12,378名（2021年3月31日現在）
事業内容	ヒューマンソリューション（HS）事業 エレクトロニクスマニファクチャリングサービス（EMS）事業 パワーサプライ（PS）事業 におけるグループ事業統括および経営管理等
連結子会社数	海外20社含む27社（海外10カ国にグローバル展開）
主な連結子会社	日本マニファクチャリングサービス株式会社（HS事業） 株式会社TKR（EMS事業） パワーサプライテクノロジー株式会社（PS事業）

(参考) これまでの歩み：人材ビジネス＋モノづくりで事業拡大

HS事業
からスタート

海外展開へ

最先端技術の根幹を支える
アナログ技術に着目

EMS・PS事業を
M&Aで獲得
モノづくり分野へ進出

北中米へ進出

新たなステージへ

9月 製造分野を中心とした請負事業を目的に株式会社テスコを設立

9月 商号を日本マニファクチャリングサービス株式会社に変更

7月 北京日華材創国際技術服務有限公司を設立

10月 JASDAQ証券取引所へ上場（現東京証券取引所JASDAQ市場）

7月 EMS企業の株式会社志摩電子工業を子会社化

8月 NMS International Vietnam Company Limited 設立
（外資初の構内製造請負事業許可を取得）

12月 北京中基衆合国際技術服務有限公司（現：中基縦合（上海）
人力資源服務有限公司（中基縦合））を設立
（外資初の中国国内労務派遣営業許可取得）

3月 中基縦合が中国政府系人材サービス会社を子会社化

10月 TKRが株式会社日立メディアエレクトロニクスより
電源・トランス事業等を譲受

3月 兼松株式会社と資本業務提携

1月 NMS VIETNAM CO.,LTD.設立

3月 カンボジア駐在員事務所設立

7月 ベトナム工場、製造受託開始

7月 nms(Thailand)Co., Ltd.がカンボジア現地企業と業務提携

7月 TKR MANUFACTURING PHILIPPINES INC.設立

1月 パワーサプライテクノロジー社 EV分野の製品開発・製造拠点
「松阪工場」を開設

5月 TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.を設立

6月 nmsロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社を設立

10月 PT. NMS CONSULTING INDONESIAを設立

12月 TKR USA, Inc. を設立

1月 nmsエンジニアリング株式会社を設立

3月 Power Supply Technology (Thailand)Co., Ltd.を設立

7月 Power Supply Technology (Hong Kong)Co., Limitedを設立

1985

1999

2000

2003

2004

2005

2007

2008

2010

2011

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

10月 テクノブレン株式会社アウトソーシング事業部の営業権を譲受

4月 中国北京市に北京オフィスを開設

4月 日本人技術者派遣事業を開始

7月 ベトナムホーチミン市に駐在員事務所を開設

7月 EMS企業の株式会社テーキアール（現：TKR）を子会社化

9月 中基縦合 無錫分公司を設立

1月 中基縦合 深圳分公司を設立

7月 中基縦合が中国河南省政府系機関と業務提携

5月 中国製造請負研究プロジェクトに参画

8月 日本通運株式会社と業務提携

9月 nms(Thailand)Co., Ltd.を設立、派遣事業を開始

10月 パワーサプライテクノロジー(株)発足、パナソニック株式会社から
一般電源事業を譲受し新たな体制で事業運営開始

12月 カンボジア人材会社2社とタイへの派遣事業で業務提携

nmsホールディングス発足

7月 NMS Lao Sole Co., LTD設立

8月 株式会社日本技能教育機構（JATEO）を設立

3月 TKR USAがソニー株式会社の米国法人Sony Electronics Inc.の
事業部門 Sony Service and Operations of Americasの
機能及び事業、並びにメキシコ生産拠点を譲受

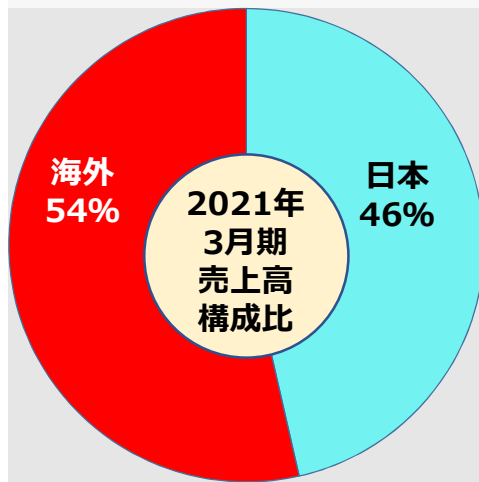
4月 TKR de México S.A. de C.V. にて事業開始

1月 Power Supply Technology (Hong Kong)Co., Limitedにて事業開始

1月 TKRが株式会社テーキアールマニファクチャリングジャパンを吸収合併

1月 「株式会社テーキアール」から「株式会社TKR」に商号変更

各事業の特長を融合させ、新たな需要を獲得



タイ・カンボジア・ラオス



nms(Thailand) Co., Ltd.
Power Supply Technology
(Thailand) Co., Ltd.



Representative office
of nms (Thailand) Co.,
Ltd.



NMS Lao Sole Co., LTD.

マレーシア



SHIMA ELECTRONIC INDUSTRY(MALAYSIA)SDN.BHD.
TKR MANUFACTURING (MALAYSIA) SDN. BHD.
TKR PRECISION (MALAYSIA) SDN. BHD.

中国・香港



北京日華材創国際技術服务有限公司（日華材創）
中基縦合（上海）人力資源服务有限公司（中基縦合）
無錫分公司 深圳分公司 上海第1分公司
東莞分公司 広州分公司

中宝華南電子（東莞）有限公司
中宝華南電子（佛山）有限公司
中宝華南電子（佛山）有限公司 深圳分公司
中宝華南電子（佛山）有限公司 蘇州分公司

TKR HONG KONG LIMITED
Power Supply Technology (Hong Kong) Co., Limited

ベトナム



NMS INTERNATIONAL RESOURCES CO., LTD.
NMS VIETNAM CO., LTD.
TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.

アメリカ・メキシコ



TKR USA, Inc.



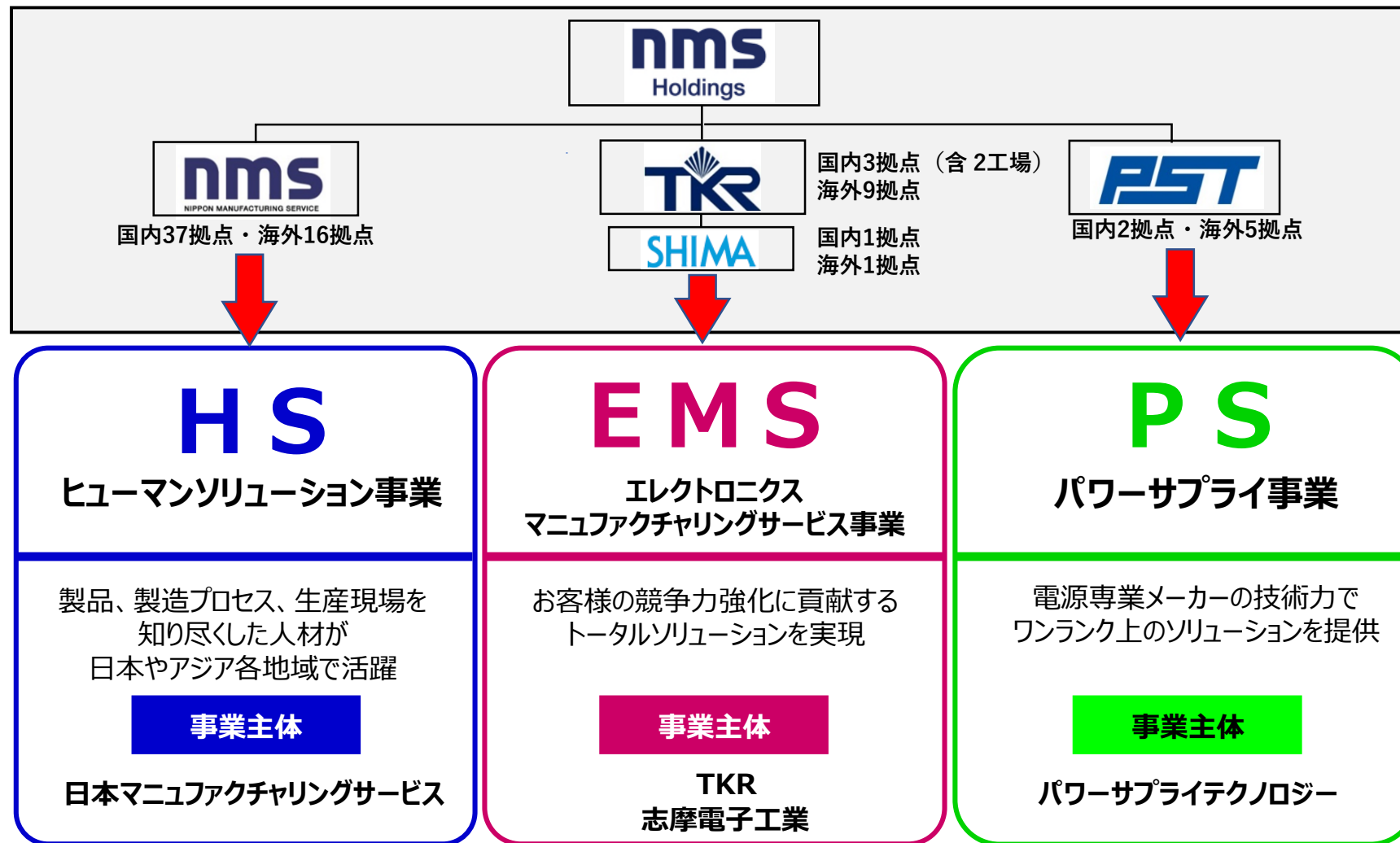
TKR DE MEXICO
S.A. de C.V.

インドネシア



PT. NMS CONSULTING INDONESIA

「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。



主なグループ会社	進出国・地域	主な事業内容
ヒューマンソリューション事業（H S 事業）		
・日本マニファクチャリングサービス株式会社 ・nmsロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社 ・nmsエンジニアリング株式会社 ・株式会社日本技能教育機構 ・中基縦合（上海）人力資源服務有限公司 ・NMS VIETNAM CO., LTD. ・nms (Thailand) Co., Ltd. ・PT. NMS CONSULTING INDONESIA ・NMS Lao Sole Co., LTD. 他	日本 中国 ベトナム タイ ラオス インドネシア カンボジア	国内/海外におけるマニファクチャリングサービス全般 ・製造事業（受託・請負・派遣・紹介） ・生産系エンジニアリング事業（受託・派遣・紹介） ・IT・設計開発エンジニアリング事業（受託・派遣・紹介） ・テクニカルサービス事業（各種リペア・リワーク・解析等/カスタマーサービス全般） ・ロジスティクスサービス事業（3PL/流通加工/派遣） ・省力化装置事業 ・外国人技能実習制度に関わる入国後教育研修の受託および実習生受け入れ先への業務支援
エレクトロニクス・マニファクチャリング・サービス（E M S 事業）		
・株式会社TKR ・中宝華南電子（東莞）有限公司 ・TKR MANUFACTURING (MALAYSIA) SDN.BHD. ・TKR PRECISION (MALAYSIA) SDN. BHD. ・TKR MANUFACTURING VIETNAM CO.,LTD. ・TKR USA, Inc. ・TKR DE MEXICO S.A. de C.V. ・株式会社志摩電子工業 他	日本 中国 香港（中国） マレーシア ベトナム 米国 メキシコ	・電子機器製造受託サービス （基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立 等） ・電子機器修理サービス ・車載関連機器・部品の設計・開発・製造 ・お客様とのシェアリングビジネス、これにかかる設計・開発・営業 ・スタートアップソリューション事業 ・3Dプリンター事業（設計および製造、販売、修理、保守）
パワーサプライ事業（P S 事業）		
・パワーサプライテクノロジー株式会社 ・中宝華南電子（佛山）有限公司 ・TKR HONG KONG LIMITED ・Power Supply Technology (Thailand) Co., Ltd. ・Power Supply Technology (Hong Kong) Co., Limited	日本 中国 香港（中国） タイ	・カスタム電源（低圧電源、高圧電源）の開発・設計・製造・販売 ・マグネットロールの開発・設計・製造・販売 ・各種トランス（スイッチングトランス、高圧トランス）開発・設計・製造・販売 ・電池マネジメントシステム関連製品の開発・設計・製造・販売

本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ
nms ホールディングス株式会社
広報・IR部 Tel:03-5333-1737
E-mail: nms-ir@n-ms.co.jp

